

第2回意見交換会を開催しました

旭川市では、永山中央公園が老朽化してきていることから、令和7年度以降に施設改修を計画しています。

11月13日(水)に公園周辺にお住いの皆さまを対象として、「第2回永山中央公園の施設改修に係る意見交換会」を開催いたしました。

先に実施いたしましたアンケート調査や個別にアリングの結果と併せて、当日にいただきましたご意見・ご要望などをご報告いたします。

また、いただいたご意見・ご要望をうけ、施設改修計画案を修正し、以下の日程で「第3回永山中央公園の施設改修に係る意見交換会」を開催いたしますので、ご参加のほど宜しくお願いいたします。



第2回意見交換会の様子

12/25(水) 18:00～ (1時間程度)

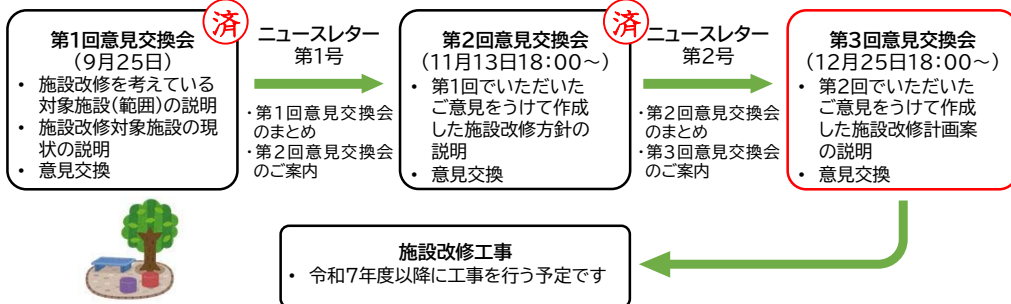
【場所】
永山公民館 講堂

【内容】
・第2回でいただいたご意見・ご要望をうけて作成した施設改修計画案の説明
・意見交換



航空写真出典：地理院地図

今後の施設改修案作成スケジュール(予定)



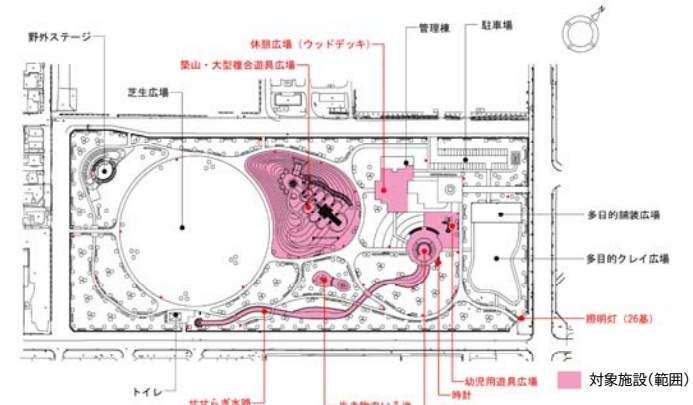
今後の事業スケジュール(予定)



■お問い合わせ先
・業務受託会社 環境緑地・富士建設JV (担当: 太田・安藤)
・旭川市土木部公園みどり課(担当: 本間)

TEL 011-221-4101
TEL 25-9705(内線5564)

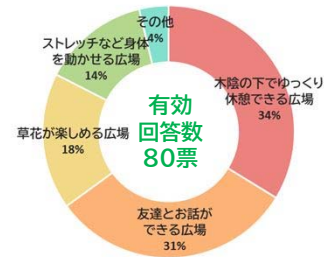
施設改修範囲



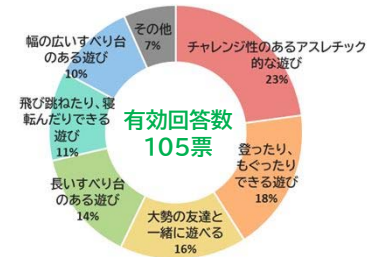
ご協力いただいたアンケートの結果(永山地区にお住まいの方を対象)

施設改修に向けた意見・要望

どのような休憩広場(ウッドデッキ)がよいか
(複数回答可)



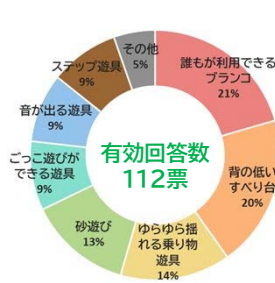
どのような築山・大型複合遊具広場がよいか
(複数回答可)



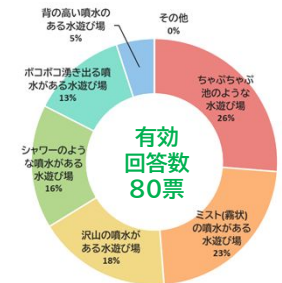
その他
・飲食が出来るスペース、売店
・お菓子の自販機の撤去
・こやの中でゆっくりしたい。(かくれが)

その他
・冬にソリやミニスキーなど子どもが楽しめる遊び
・ピラミッド型の遊具
・プール
・ウォールクライミング
・ターザンロープ

どのような幼児用遊具広場がよいか
(複数回答可)



どのような噴水・せせらぎ水路がよいか
(複数回答可)



その他
・自然に触れられる場所
・トランポリン的遊具
・チャレンジ出来てかつ見守れる高さの遊具
・プール
・鉄棒

個別ヒアリングの結果

保育園・認定こども園

【再整備に望む施設など】

- ・親水施設の水質は綺麗なものにしてほしい
- ・親水施設の周辺には、屋根付きの休憩施設や木陰を作してほしい
- ・幼児用遊具と児童用遊具は、ある程度離して配置してほしい
- ・乳幼児もハイハイして登れる小さな築山がほしい
- ・ドングリや落ち葉拾いなどが楽しめる樹木を植栽してほしい
- ・周辺の公園には無い、グレードの高い遊具があると喜ぶと思う
- ・水深は浅い方が安心して利用できる
- ・0～3歳児が安心して楽しめる遊具を増やしてほしい
- ・ブランコの座面はバケット型にしてほしい

幼児用遊具アンケート

幼児用遊具における意向アンケート調査結果

Q.幼児用遊具において、導入してほしいと思う遊具をお選びください(最大5つ)

【頂いたご意見・ご要望】

1位 複合型遊具



2位 ブランコ



3位 回転遊具



4位 クライム遊具



5位 ステップ遊具



- ・日陰や屋根付き休憩施設がほしい
- ・ベンチを増やしてほしい
- ・幼児が遊ぶゾーンと児童が遊ぶゾーンを分けてほしい
- ・現状は狭いので、死角を作らないようにしつつ、遊具を沢山配置してほしい
- ・止まっている時計を直してほしい

施設改修に向けた基本的な考え方

- 施設改修であるため、既存の機能や役割を踏襲することを前提とする。
このため、大規模なゾーンの改変は行わない。
- 但し、現状の利用状況や持続可能な公園づくりを鑑みて、既存機能の廃止、新たな機能(魅力)の創出、相互利用の促進を目的とした軽微なゾーン移動は検討する。

施設改修に向けた各広場の方針案

【休憩広場(ウッドデッキ)】→機能の保持(縮小)

- ・使用する舗装材は、維持管理の負担が少ないブロック系のものとする。
- ・広場の大きさは縮小の方向とするが、ベンチなど小休憩ができる施設の充実を図る。



【幼児用遊具広場】→機能の充実

- ・既存の広さは手狭であり、アンケートからも狭いことを指摘する意見が挙げられていることから、広場を拡張する。
- ・導入する施設については、誰もが楽しめるようインクルーシブ遊具の導入も検討する。



【せせらぎ水路】→廃止・機能転換

- ・将来的な漏水リスクの低減の観点から、親水機能は噴水に集約する。
- ・撤去に伴い、芝生・草花・低木などを主体とした空間を創出する。



【噴水】→機能の充実

- ・現状の利用状況及びせせらぎ水路の廃止を踏まえ、噴水部の親水空間の充実を図る。
- ・噴水の形状は、アンケート調査で人気の高かったミスト型+吹き出し型の複合タイプとする。
- ・乳幼児の安全性を第一とすることから、水深は3～5cm程度とする。



【生き物のいる池】→廃止・機能転換

- ・令和4年より集水を行っておらず、また利用者のニーズも低いことから廃止とする。
- ・代替え機能としては、多様な利用ができる木立と芝生の広場とする。



【築山・大型複合遊具広場】→機能の充実

- ・築山部分の既存複合遊具は、主要な構造部材など極力再利用が可能なものは再利用することを検討する。
- ・築山部の複合遊具のほかに、大型の滑り台かつワフワドームの整備も検討する。
- ・築山頂上まで続くスロープについては、散策利用者の健康増進を促す目的で改修する。



【照明灯】

- ・ランプ灯具をLED照明とし、光熱費の低減を図る

【時計塔】

- ・新たに更新を進める音を奏でるカリヨンの有無は過去の経過を踏まえ、地域の意見を確認して検討する

【多目的舗装広場(スケートパーク)】

- ・広場や施設のあり方について、関係団体と協議を行う



施設改修に向けたゾーニング案



第2回意見交換会で挙げられた主な意見・要望

- 各広場の改修方針
 - ・各広場の改修方針については、良いと思う
- 遊具
 - ・滑り台の座面は夏期に熱くならない素材にしてほしい
 - ・子どもたちが自分の体力や能力に応じて、段階的に遊べるようなものにしてほしい
 - ・バスケットゴールの設置を検討してほしい
- その他の施設
 - ・水飲台は、子どもでも利用できるものにしてほしい(蛇口が下向きにできるもの・ハンドルが手動型)
- 幼児用広場の位置
 - ・幼児用広場は、遊びの連続性などを考えて多目的舗装広場から離し過ぎない方が良いのではないかと
- バリアフリー
 - ・幼児用遊具にインクルーシブ遊具を導入することには賛成
 - ・駐車場から幼児用遊具までのアプローチは、バリアフリーに配慮してほしい
- カリヨン
 - ・音を嫌がる人も居るので音は出ない方がよい
 - ・時報のように毎時音を鳴らすのではなく、子どもたちが帰る時刻をお知らせする程度の頻度で鳴るのであれば良いのではないかと
 - ・能動的に時刻を調べるような、日時計も検討してはどうか
- その他
 - ・スケートパークは能力に応じて楽しめるよう、配置を工夫した方がよい
 - ・隣接する永山小学校との公園の間の市道が暗いので街灯を増やしてほしい